

日英教育学会 JAPAN-UK EDUCATION FORUM NEWSLETTER No.53 2019/6/20	日英教育学会事務局 〒114-0033 東京都北区十条台1-7-13 東京成徳大学子ども学部 青木研究室内 TEL 03-5948-4464 jimukyoku@juief.sakura.ne.jp
--	--

日英教育学会第28回大会のご案内

【会場】

福岡大学 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1
メイン会場：福岡大学附属図書館多目的ホール
連絡先：大会準備委員長 高妻紳二郎
kozuma@fukuoka-u.ac.jp

【大会スケジュール】

第1日：8月26日（月）

11:00～12:30	運営委員会	図書館6階 大学院ゼミ室
12:30～	受付	図書館1階多目的ホール前
12:30～13:20	公開シンポジウム 打ち合わせ	図書館6階 大学院ゼミ室
14:00～17:20	公開シンポジウム	図書館1階多目的ホール
17:30～19:00	懇親会	図書館1階 ひだまり

第2日：8月27日（火）

9:00～	受付	図書館1階多目的ホール前
9:30～11:20	自由研究発表	図書館1階多目的ホール
11:30～12:30	総会	〃

《大会参加費》 3000円（一般会員）、1000円（学生会員）

《懇親会費》 3000円

【喫煙】 館内は禁煙です。キャンパスにある所定の喫煙所をお願いします。

【宿泊】 各自でご手配をお願いいたします。

【昼食】 両日ともに学食が開いておりますので、適宜ご利用ください。

【 公 開 シ ン ポ ジ ウ ム 】 8 月 26 日(月) 14 時～17 時 20 分

テーマ 【英国教育史研究の軌跡と展望～歴史を紐解く時間として】

企画趣旨

日本における英国教育研究は、近年の大きな教育改革の影響が随所にみられることを受け、研究者の興味関心は細分化しつつも研究知見が豊かに蓄積されてきている。ただ、細分化するが故に「ではのかみ」と称されるように、部分的あるいは断片的な紹介にとどまることもある。もちろん、今日の英国教育をめぐる急速な環境変動を迫りつつその性質を的確に把握する必要があることは言うまでもないが、矢継ぎ早の改革が実行されており、それぞれの功罪を、短期間で緻密に事前事後検証することはもはや困難である。とは言え、政治・一般行政レベルはもとより日本の教育システムの企画・実施プロセスにおいて英国の類似システムが参照されることもこれまでも数多く、日本へ応用可能な施策やその実施状況を随時紹介することもまた私たちの責務である。

かかる今日の状況のもと、歴史研究の成果が今後の教育を導く、欠陥を是正する、あるいは何らかの示唆を与え得るのかという視座に立てばそれはなかなか現実には困難ではあるが、歴史の延長線上に今日があり、それを「跡付ける」学術的な意義は極めて高いまま今日に至っていると思われる。英国の政治行政システムも長年の伝統を背景に有し、例え教育制度に関わる大規模な変革であっても、当の英国人（研究者）は泰然と臨んでいることに驚かされることもある。リーダーシップ研究や組織・カリキュラムマネジメント研究等が隆盛を誇る今日、歴史研究は英国本国においてもサッチャー改革の余波を受けて以来、財政抑制による制約もあり低調というべき状況にあった。日英教育学会でも久しく歴史研究をテーマとして取り上げていなかった状況に鑑みて、本大会では改めて英国教育史研究に光を当ててみたい。目まぐるしい変革が続き息つく暇もない今日であればこそ、英国の歴史的文脈に改めて触れることで私たち英国教育研究者の「目が肥える」機会になれば幸いである。

そこで本大会は福岡大学で開催することもあり、英国史研究の重鎮である松塚俊三先生（福岡大学名誉教授）から英国教育史研究のだいご味を、そして香川せつ子会員（現在、西九州大学客員教授）から永年の女性教育史研究についてそれぞれ講話いただくことにしている。改革疲れも看取される現在からいったん歴史を遡り、英国教育史研究の意義を再度会員で共有し、特有の伝統を味わえるようなシンポジウムになればと思っている。

進行： 高妻紳二郎（福岡大学）、中村勝美（広島女学院大学）

14：10～15：10

松塚俊三（福岡大学名誉教授）

自伝研究にみる「学び」の歴史性—イギリス労働者階級は何をどう学んだか—

15：20～16：30

香川せつ子（西九州大学）

フェミニスト・ヒストリーから、ジェンダー、トランスナショナル・ヒストリーへ—イギリス女性教育史研究半世紀のあゆみ—

16：50～17：20 共同討議

※非会員の方もご参加いただけます（無料）

〔シンポジスト〕

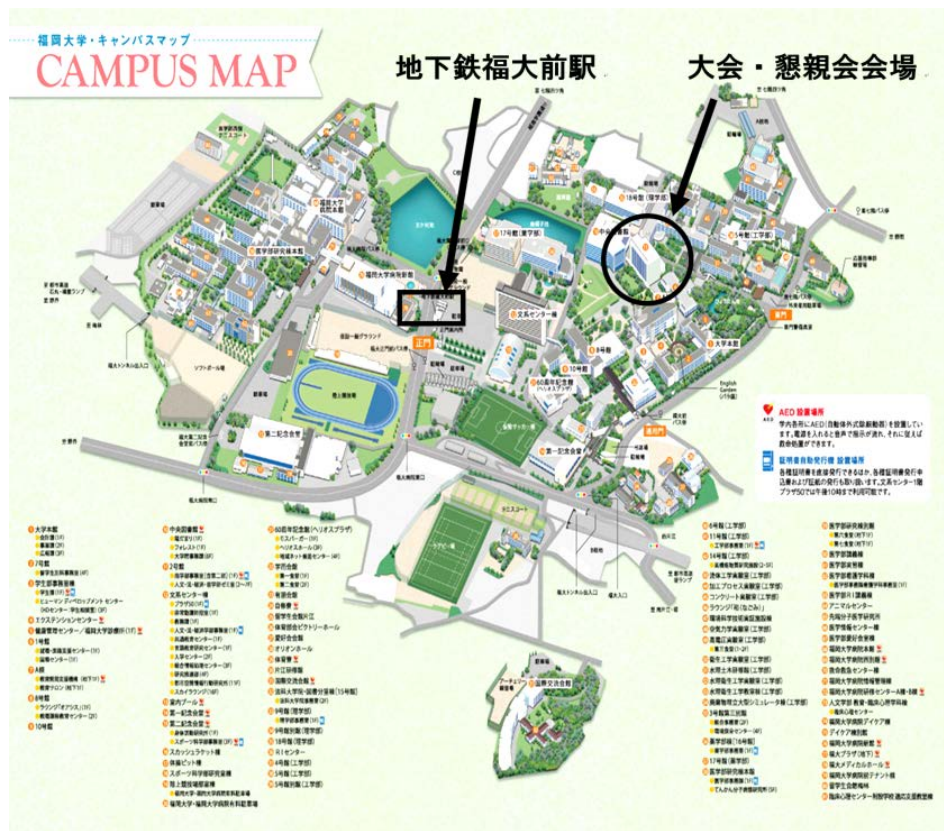
松塚俊三（福岡大学名誉教授）

イギリス近代史、民衆史、教育史をご専門とし、現在も九州歴史学科研究会、イギリス教育史研究会、九州西洋史学会等で精力的に活躍中。『19世紀イギリスの民衆と政治文化』（2004）昭和堂、『歴史のなかの教師—近代イギリスの国家と民衆文化—』（2001）山川出版社、R・オールドリッチ『イギリスの教育—歴史との対話—』（安原義仁氏との共訳）（2001）玉川大学出版部等、多数の著書、翻訳書を刊行。

香川せつ子（西九州大学客員教授）

イギリス女性教育史、女性と高等教育、ジェンダー等の領域がご専門。『女性と高等教育—機会拡張と社会的相克』（香川せつ子、河村貞枝共編著）（2008）昭和堂、「ケンブリッジ大学における女性科学者の系譜—19世紀末から20世紀初頭にかけての時期を中心に—」（2015）西九州大学子ども学部紀要、「イギリスにおける教育史研究の潮流—ジェンダー、トランスナショナリズム、エージェンシー—」／ジョイス・グッドマン著、香川せつ子、内山由理、中込さやか訳（2018）西九州大学子ども学部紀要等、多数。現在科研で「女子高等教育のトランスナショナルな交流とネットワーク構築に関する歴史的研究」を展開中。

【交通アクセス】



* 8月中には大会プログラムを学会ホームページに掲載する予定です。

（高妻紳二郎）

公開講義 報告（日英教育学会後援）

テーマ 「Factories for Learning～学力工場のエスノグラフィ～」

講演者：クリスティ・クルツ博士（ケンブリッジ大学教育学部リーヴァーヒュームトラスト若手研究員）

コーディネーター：仲田康一（大東文化大学）

日時： 2018年12月4日（火） 17時00分 ～ 19時00分

場所： 東京大学教育学部第1会議室

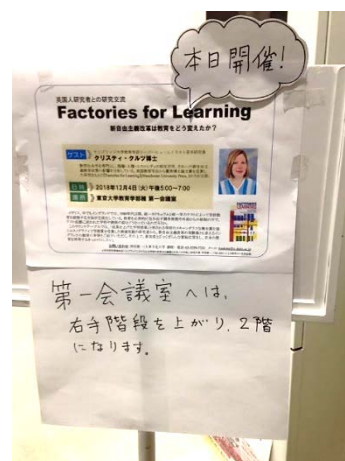
本企画で講演を行ったクリスティ・クルツ博士は、気鋭の教育社会学者であり、現在ケンブリッジ大学教育学部リーヴァーヒュームトラスト若手研究員として研究を行っている。

今回の来日の端緒は、同氏の著作に関心を持った報告者（仲田（本学会会員））がコンタクトを取り、情報交換をしたことにある。その後、国外で自らの研究成果を発表したいという同氏からの申し出があり、来日の運びとなった。同氏は、2018年11月末から12月初の間、報告者の所属先である大東文化大学での研究会や、東京都内の中学校の訪問等を含む研究交流を行ったが、今回の公開講義は、同氏の来日のメインイベントとして位置づけられるものである。本学会の後援を得たこともあり、研究者と大学院生それぞれ約20人、計40名ほどの参加者に来場いただけた。

講義では、イングランドにおける教育改革の「成功例」として同国で称賛されている学校においてクルツ博士が行ったケース・スタディが紹介された。その学校は、イングランドで進展するアカデミー化の先駆的存在で、不利な社会経済的背景を持つ生徒が多数入学してくるインナーシティの中等教育学校である。「不幸」なインナーシティの子どもたちの「代理親」として、彼らを文化的に転換すると謳う同校は、学力テスト結果や大学進学率の点で劇的な成果を上げたという。と同時にエスノグラフィを通じて彼女が明らかにしたのは、カリスマ的校長の強硬なヘッドシップと非民主的運営、生徒のテスト結果を用いた教員への監視的統制、生徒への強圧的な指導と懲罰——といった、論争を呼びうる同校の実践技法であった。さらに、クルツ博士は、こうした実践の背景に伏在する特定の眼差し——例えば「チャヴ」と呼ばれる白人労働者階級への蔑視や、インクルージョンの特定の民族への限定、学力貢献度の高い白人中産階級生徒の優遇——についても言及し、その価値基準をもとに、「適切な」形に子どもたちを規格化し、不規格品を排除する「コンベア・ベルト」のようなものとして同校のプロセスを捉えるとともに、その中で差別と格差が（再）生産されていることも明らかにした。

権威主義を伴った新自由主義という現今の政策潮流に対しての批判的な講義に対して、フロアからは、チャーター・スクールとの関連、実践の波及力の問題、シティズンシップ教育との関連などについて多くの質問が寄せられた。

参加者におかれては、イングランドの教育状況について様々な角度から何らかの示唆を得ていただければ主催者として望外である。改めて、本学会の後援と、ご参加いただいた方々に対して謝意を申し上げ、報告とさせていただくところである。



（仲田康一）

特別研究会のご案内

マンチェスター大学のポール・アームストロング先生をお招きして、特別研究会を開催する計画を進めています。研究会のテーマや日程等は下記の通りです。ふるってご参加ください。

テーマ：「英国の学校ビジネスマネージャーの取り組みと可能性（仮題）」

日 時：2019年8月7日（水）（※時間は未定です。WERAのプログラムが確定した後、改めて周知します）

場 所：実践女子大学渋谷キャンパス

（清田夏代）

連載 第4回 英国教育研究アーカイブス —木村先生蔵書のリスト化計画3—

今回は、故木村浩先生からお預かりした段ボール6箱の3箱目をご紹介します。今回開封した箱には大学カレンダーのみ、一般図書は収納されておりました。なお、過去にご紹介したリストにある大学に関するパンフレットやカレンダーが見つかる場合もあります。最終的にすべての箱を開封し、リスト化したのち、一つにまとめる計画であります。読者の皆様にはその点ご了承ください。ありがとうございます。また、以下にご紹介する資料にご興味がおありの場合は、いつでも学会事務局（jimukyoku@juief.sakura.ne.jp）までご連絡ください。よろしくお願ひします。

※書名に続く（unknown）は出版年不明、（copied）は冊子ではなくコピープリントの状態であることを指す。

1 大学カレンダー

Durham University

Calendar 1956-57 vol.1 Almanack and Lists.
Calendar 1957-58 vol.2 Regulations.
Calendar 1962-63 vol.2 Regulations.

University College London

Slade School of Fine Art -Prospectus 1962-63.

Edinburgh University

General Prospectus for entry in 1973.
Law Prospectus for entry in 1973.
Science Prospectus for entry in 1973.

University of Aberdeen

Annual Report 1972.
An Introduction to the Faculty of Arts 1972-73.
Postgraduate Opportunities in Arts and Social Science, unknown.
The Diploma in Education and the Degree of Master of Education -Notes for Prospective

Candidates-, unknown.

University Calendar 1962-63.
University Calendar 1972-73.

University of Bath

Charter Statutes Ordinances 1971.
Handbook of Information for Staff 1972 Edition.
Look to the future -Come to Bath University (leaflet, unknown)
Postgraduate Prospectus 1973.
Regulations 1972.
Standing Orders of Council and Senate, revised January 1972.

The University of Birmingham

Calendar 1965-66.

University of Bradford

(1) Pamphlet

Integrated Sandwich Courses -A university education for the future, June 1972.
Interdisciplinary Courses -A New Approach -, June 1972.

MA by Advanced Study Applied Social Studies,
unknown.

MSc by Advanced Study in Education, unknown.
Part-time Diploma in Psychology and Sociology
of Education, unknown.

Project Planning Centre for developing
countries Prospectus for 1972/73.

Research in Social Science, unknown.

Undergraduate Honours Course in Applied
Social Studies, unknown.

Undergraduate Honours Course in Business
Studies, unknown.

Undergraduate Honours Course in
Environmental Science, unknown.

Undergraduate Honours Course in European
Studies, unknown.

Undergraduate Honours Course in Humanities,
unknown.

Undergraduate Honours Courses in Modern
Language, unknown.

Undergraduate Honours Course in Operations
Management, unknown.

Undergraduate Honours Course in Psychology,
unknown.

Undergraduate Honours Courses in Social
Sciences, unknown.

(2) Prospectus

Management Centre -The Postgraduate School
Session 1971-1972.

Management Centre -The Postgraduate School
Session 1972-1974.

Post graduate Prospectus 1973/74.

Undergraduate Prospectus 1973/74.

(3) Calendar

Calendar 1972-73.

Calendar October 1985.

(4) Others

University of Bradford Union, Union Handbook
1972/73.

University of Bristol

Calendar 1957-58.

University of East Anglia (UEA)

Calendar 1972-73.

Calendar 1965-66.

Prospectus 1973-74.

Prospectus 1965-66.

Tenth Annual Report of the Vice-Chancellor

1970-71.

University of Cambridge

The Student's Handbook to the University and
College of Cambridge 1956-57.

University of Oxford

(1) Pamphlet

Admission of Overseas Students, March 1972.

Jesus College, Oxford -Pamphlet, unknown.

Keble College, 1987.

Lady Margaret Hall, Oxford -Prospectus,
unknown.

Nuffield College Report 1966-71.

Pembroke College, Oxford -Guide for graduate
students, unknown.

Pembroke College, Oxford -Guide to admissions,
unknown.

The Queen's College Oxford, unknown.

St Anne's College, Oxford -Prospectus 1973

(2) Prospectus

Prospectus 1973-74

Prospectus 1974-75

Undergraduate Prospectus 1975-76

University of Durham

Faculty of Science Handbook -Science in the
University of Durham, Undergraduate
courses and postgraduate opportunities 1972-
73.

Faculty of Science Handbook -Science in the
University of Durham 1965.

Faculty of Music -Regulations and Syllabus
1965-66.

General Prospectus 1973-74.

Information for Applicants -session 1965-66.

Postgraduate Study 1972-73.

Regulations for Higher Degrees in the Faculty of
Science 1965-66.

Regulations for Higher Degrees and
Postgraduate Diplomas in the Faculty of Arts
1965-66.

Regulations for Matriculation 1972-73.

Report by the Vice-Chancellor and Warden for
the year 1971-72.

以下、次号に続く。

(宮島健次)

運営委員会報告

2019年5月11日、専修大学神田校舎にて2019年度第一回運営委員会を行いました。概要は次の通りです。

(1) 会員数について

2019年4月1日時点での会員数は103名です。

(2) 2018年度決算(案)について

皆様のご理解ご協力の結果、学会会計は黒字となる見通しです。

(3) 2019年度大会について

(4) 紀要について

(5) 2019年度予算(案)について

(6) 次年度大会校について

2020年度は京都での開催を計画しています。正式に決定次第お知らせいたします。

(7) 紀要会員について

紀要会員規定の見直しを検討しています。今年度の総会で提案する予定です。

(8) ニュースレターNo.53について

(9) 教育関連学会連絡協議会について

(青木研作)

紀要編集委員会報告

紀要23号では昨年の大会テーマ「スタンダード化時代の教育リーダーシップ」に関する論考のほか、自由投稿論文等を掲載予定です。8月下旬に発行できるように現在作業を進めております。編集作業の過程ではぎりぎりまでご迷惑をおかけするかと存じますが、どうぞよろしくお願いたします。

紀要の原稿を募集しています

紀要第24号(2020年8月発行予定)の自由投稿論文を募集しています。編集委員会としては次号の総頁数のおよその見当をつけたいと思いますので、投稿の意思のある方は2020年1月末日までに、氏名・所属・論文タイトル(仮のものでかまいません)をメールでお知らせください。なお、投稿の意思表示がなくても、ご投稿いただけます。論文の投稿の締め切りは2020年3月末日です。

投稿意思表示および投稿論文の提出先は「日英教育研究フォーラム紀要編集委員会」kiyou@juef.sakura.ne.jpです。投稿論文のテンプレート及び投稿規定は日英教育学会HP(<http://www.juef.sakura.ne.jp/newsletter.html>)でご確認ください。

(高妻紳二郎)

ニューズレター第52号の記事内容について

広瀬代表に執筆いただいた前号の「ごあいさつ」の中で、上田学前代表の代表就任時期に関して誤解を与える可能性のある文章がございました。上田前代表は大田直子先生がご逝去される前から代表をされておりましたことをお伝えさせていただきます。

学会会費をお支払いください

2019年度会費をお支払いください。

過年度会費未納の方につきましては、併せてお支払いをお願いします。

また、規定に基づき、三カ年会費未納の方は、除籍されます。くれぐれもご注意ください。

※2018年度より会費が**8,000円**となっておりますので、お間違えのないようお願いいたします（学生会員は6,000円です）。

会員登録データの確認のお願い

「会員登録データ確認用紙」を同封しております。所属等の情報が古くなっている方もおられると思いますので、確認をお願いいたします。また、本学会の研究活動をより充実したものにするために、会員の皆様の専門領域や研究テーマをご登録いただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

今年はラグビーのワールドカップが日本で開催されます。イングランドで行われた前回大会で日本は強豪の南アフリカを破る快挙を成し遂げました。今回の大会でも世界を驚かせる活躍をして欲しいものです。なお、ラグビー発祥の国であるイングランドは、前回大会で日本を率いたエディー・ジョーンズ監督の下で復活を遂げ、優勝候補の一角と目されています。また、ウェールズは今年のシックス・ネーションズを優勝し勢いがあり、スコットランドはグループリーグで日本と対戦します。日英のそれぞれの代表に注目しながら、ワールドカップを楽しみたいと思います。本ニューズレターでは今年度の大会のを中心にお知らせしました。高妻会員のご尽力で大変興味深い公開シンポジウムが計画されております。大会二日目の自由研究発表の題目や要旨については、後日メールやホームページでお知らせいたします。8月に皆様にお会いできるのを楽しみにしております。

(青木研作)

日英教育学会 (Japan-UK Education Forum)

代表 広瀬 裕子

◆事務局 〒114-0033 東京都北区十条台 1-7-13

東京成徳大学子ども学部・青木研究室内 TEL 03-5948-4464

◆問い合わせ先 jimukyoku@juéf.sakura.ne.jp

◆郵便振替 00170 2 780381 日英教育学会

◆三井住友銀行 武蔵関支店 総合 6651815 日英教育研究フォーラム事務局長 青木研作